



Contents

- ◇ 会長室から、こんど～です
- ◇ いま考えている事：『なぜ会社は大きくなるのか?』について
- ◇ いまさら聞けない相続税の仕組みシリーズ

4
2015
Vol.137

たいせい通信のメール配信をいたします。

ご希望される方は、下記のメールアドレスに、件名を【たいせい通信メール配信希望】とし、お名前、会社名、電話番号を明記の上、送信ください。

info@taiseikeiei.co.jp



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、
企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発 財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成財産コンサルタンツ 相続税申告・終活相談・資金調達運用
会社売買・生命保険損害保険・不動産
- ◆(株)アップワード エスト保険 生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション 居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング 商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・徳留税理士事務所・浦野税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・
竹馬社会保険労務士事務所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・
須賀経営労務研究所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

(株)大成経営開発 統括室発行 Tel: 096-377-1101 Fax: 096-377-1114

会長室から、こんど~です



温かくなり桜の花も満開となりお花見シーズンです。たいせい通信がお手元に届くときは、葉桜の時期ですね。

今年は熊本よりも先に東京の方が満開となりました。1週間くらいしかない間に雨が降らない事を祈るばかりです。弊社も年度末の決算報告会も終わりました。

さて今月からまた新体制で業務をスタートさせます。チームの見直し、メンバーの入れ替えなどで心機一転、気分を入れ替えて目標設定して頑張ります。

新たに編成されたチームにはそれぞれの役割があります。その役割や目標を達成できるか否かはそのチームの**マインド**にあると思います。

ある人のお話によると、人間の成功は所属する集団によって決まると言います。私たち日本人は、**日本人と言う集団（レファレンスグループ）**に属しているから**日本人の心理**で仕事に向かうことが出来ています。ある日突然違う国へ行ったならば、今と同じ気持ちで仕事に向かうことは出来ないでしょう。

所属するチームはその**チームマインド**により仕事に向き合う気持ちは変わります。

マインドとは

コンサバティブマインド

事なかれ主義でルールが大事で前例のない事はやらないと言うお役所的なマインド

アグレッシブマインド

仕事は勝つためにやっていて、絶対に負けてはならない。いけいけどんどの俺が一番になると言うようなマインド

グロースマインド

自己実現と会社のミッション、ビジョンが合致してごきげんで働く事が出来るマインド

会社としては全体が**グロースマインド**を持てるかどうかと言う事が重要になってきます。

（ごきげんで働く社員はいい結果を出します）

そのために会社は色々な表彰制度や、感謝カードなどの工夫をされていると思います。

どんな部署の人でも**ごきげんで働けるチーム**を作り、リーダーを育て、リーダーが工夫をして行くことが大切なのではないのでしょうか？

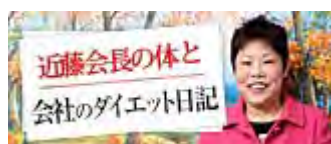
会社としての空気のごきげんで前向き方向にあれば、社員の皆さんがその空気に乗って仕事をする事が出来る環境を作ることが重要課題です。

弊社は1チーム3人から4人です。役割分担し、協力していい結果が出せるチームとはを今一度考え チーム作りをしていきます。

ありがとうございます。



(株)大成経営開発会長近藤記



会長ブログ：近藤会長の体と会社のダイエット日記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

いま考えている事：『なぜ会社は大きくなるのか？』について



いま熊本です。先日まで満開の桜が、昨日の雨で葉桜になったみたいです。

いよいよ新年度が、始まりました。決算報告慰労会と27年度方針発表も終わり、4月月初会議も終わりました。ワクワクの気分です。

ところで最近、色々の若手経営者の方々からよくある質問についてお話してみたいと思います。

それは会社を大きくしたいとか？人間としてピックになりたいとか？思わず笑ってしまいそうですが、本人は真剣で夢があり、やりたい事がありいいですね！！これが成長の源泉でしょうか？？

何故なら20代30代前半にして創業3年5年でそれなりの会社になってきているからです。こちらもその必死さが分かるので、**帝王学の教え**に基づいて答えさせて頂いています。

回答は、以下の通りです。

1. 勉強する事

まず勉強する経営者は、成長・成功の確率が上がりますね。当然といえば当然ですが。そして**①勉強熱心、②素直、③プラス発想**を薦めます。

2. 成功者に学ぶ事

人生の師匠を探すように薦めます。先人の教えや歴史の学問を薦めます。経営者とは偉い人ではなく辛い人です。そして外遊するように薦めます。外遊の目的は、**①時流を知るため、②自分以上の人との人脈形成、③市場開拓**です。

3. 栄枯盛衰を知る事

歴史には、人生には、会社経営には、循環があります。つまり歴史は繰り返すという事です。会社経営にも創業期・成長期・安定期・衰退期があるという事です。衰退期を迎えないその源泉とそのシステムを、学習するように薦めます。そして常に1年・3年・5年・10年のスパンで物事を考える事を薦めます。最期に時間からの逆算で経営する事も勉強してもらいます。

4. 我以外皆師

人生の理念・目的を持ってもらいます。それは一人間として生き甲斐・やり甲斐のためです。そして物心両面の成長のために心理学と脳生理学という組織学人間学である帝王学を薦めます。目的を持った人にとっては、人生の森羅万象に無駄がなくなります。我以外皆師であるという事を理解してもらいます。

以上の4点を伝えます。

私がかが思うに会社も人間も大きくしようと想って大きくなるものでもなく、大きくしようと想わなくても大きくなるのが自然です。そこにはいつの時代も変わらない**普遍の真理という原理原則**が働いているみたいです。

最後になりましたが、いよいよ春爛漫！！来月は私の誕生月で新緑の5月です。

メチャメチャ燃えています、今年も景気なんて関係ねえ！！

と行きたいもんです！！みなさまのご健闘をお祈りします！！



東京事務所にて



会議長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taisei-gt.co.jp/blog/>

💡 いまさら聞けない相続税の仕組シリーズ

「自社株の相続」

会社経営の相続や事業承継に当り、一番悩ましいのが自社株の取り扱いです。自社株の悩みは大きく分けて2点。

- ①評価額がものすごく高くなっており、相続財産の多くを占めている。
- ②自社株を相続人に分けなければならない。

いわゆる、節税と争族の問題です。

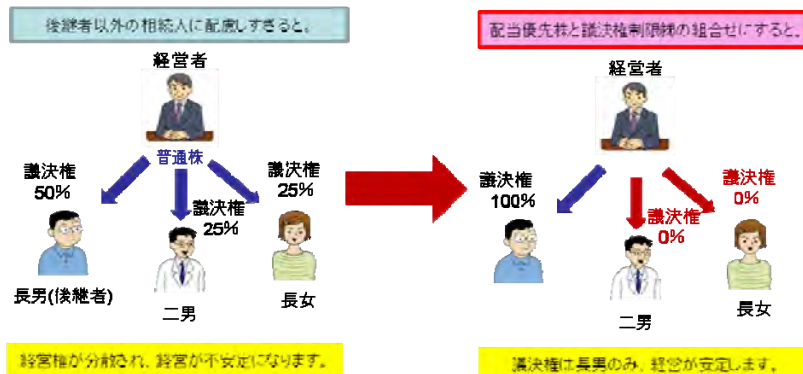
上場企業とは違い中小企業の自社株は換金性も低い上、いざ相続や事業承継になると評価額が高い。中小企業の経営者にとって、相続や事業承継の象徴は自社株であると言っても過言ではありません。

今回は、②の自社株の分割についてお話ししたいと思います。自社株を分割しなければいけなくなった時、会社の後継者にとって一番心配なのは、経営の主導権です。株式のシェアが67%以上持っているというのが、後継者にとって有利な自社株の割合ではないでしょうか？

では仮に、相続財産が自社株しかなく、やむを得ず自社株を分散しなければならないといった場合。経営権が自社株の承継と共に分散しないようにする為に有効な手段として「種類株」というのがあります。

例えば、議決権の制限が出来る「無議決権株式」や優先的に配当を受け取る事が出来る「配当優先株」を組み合わせた種類株は、議決権がなく、将来的に配当を受け取る事が出来、相続人の不労所得とする事が出来ます。

【主な種類株と事業承継の一例】



【主な種類株】

種類	内容
配当優先株	剰余金の配当を優先的に受けられる。
残余財産優先株	会社清算時に、残った財産の分配を優先的に受けられる。
議決権制限株	株主総会での議決権の行使が制限される。
譲渡制限株	株の譲渡をする場合は会社の承認が必要になる。

種類株は他にも種類があります。

財産の公平感を優先すると、会社の経営の不安定になる事もあります。財産の承継、事業の承継と考える事は多いですが、優先順位を考え、会社経営にとって後継者に優位になるよう対策をしていく事をお勧めします。手続きが複雑になりますので、是非ご相談を。

 岡村 泰

編集後記：今年も確定申告が終わり、一息ついているところです。

今月号の表紙は慰労会の弾けっぷりを載せてみました。毎年載せて良いものやら、と悩んでいるのですが載せちゃいました。毎年出し物がレベルアップ？エスカレート？して、ちょっと怖いものがあります。(´▽`) 来年も楽しみです！

